

コラム「さきたま思い出写真館」③

堀内紀明

写真は、主に昭和40年代後半から50年代前半のものである。この時期の写真には、子供のころの遠足、家族での小旅行等、人々ともに歩んだ埼玉古墳群の思い出が残されていた。



写真3 「埼玉古墳群に到着」(昭和44年頃)
バスが到着し、見学者が降り立ったところであろう。正面奥に見えるのが丸墓山古墳である。



写真4 「収穫時期の丸墓山古墳」(昭和44年頃)
中央左側の墳丘が丸墓山古墳、右側が稲荷山古墳である。



写真5 「埼玉古墳群への遠足」(昭和46年頃)
国指定史跡・古墳公園として整備が進む中で、埼玉古墳群は、県内外の小中学生の社会科見学の場として活用されるようになる。

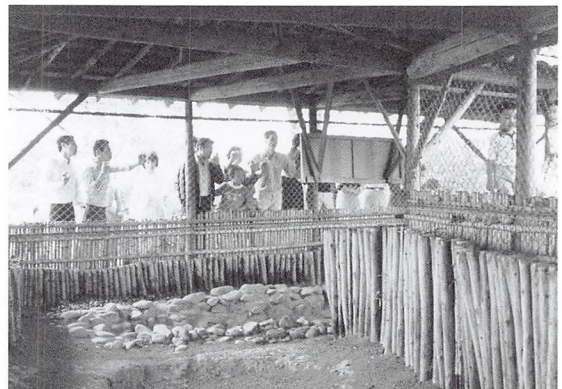


写真6 「稲荷山古墳礫塚」(昭和53年頃)
金錯銘が発見された頃の稲荷山古墳見学者の様子である。当時、後円部主体部は覆屋で保護されていた。